



まなべ ようこ  
真鍋陽子議員



「子どもまんなか」社会の実現に

向けて笠岡市ができることを問う

**質** 子供たちが企業とコラボレーションして開発した地域色豊かな商品を、一過性のものではなく、地域に根付かせることはできるか。

**答** 商工業関係者、あるいは観光協会等と情報共有しながら、最終的に企業に商品化していただき、販売することなど専門家と話をしながら研究していきたい。

**質** まちづくりの開発は10年単位で行われるものだからこそ、子供たちに「将来自分が大人になった時の笠岡市」をイメージしてほしい、率直な意見を出してほしい、その取組の一つとして、市の様々な審議会に参加できればと考えている。例えば参加しやすくするために、審議会のオンライン開催は考えているのか。

**答** 教育課程に位置づけるものであれば可能と考えている。

**質** 明治以来150年続いている既存の学校教育制度が時代に合っていないことによる弊害が出てきている。神奈川県のある私立校では「学びの主体を生徒に移譲する」「生徒が1600人いれば1600通りの時間割をつくる」「実学的な学びにより社会に貢献できる人材を育てる」と、新教育課程を開発されている。教育長、市長などにも、ぜひ視察に行つてほしい。

**答** ぜひとも訪問したい。

その他「新婚等世帯家賃助成金の年齢要件」「観光情報記載型ふるさと納税カテゴリー」等について質問しました。



もりおか さとこ  
森岡聡子議員



活気ある笠岡市の

展望について問う

**質** 笠岡駅周辺の利便性対応について尋ねる。

**答** 平成30年3月に策定された、JR笠岡駅周辺整備基本構想を基に、令和9年度末を目途に駅南北をつなぐ自由通路、駅南口広場等の整備、北側駅前広場の再整備、住吉港や西ノ浜周辺エリアを巻き込んだ新たなまちづくりを進め、持続可能な都市を構築しようと考えている。

**質** 分庁第2跡地(笠岡2627)利用について尋ねる。

**答** 民間事業者による開発事業を活用し、駅周辺整備事業と足並みをそろえながら、土地の売却の公募を行いたいと考えている。

**質** 篠坂パーキングエリアスマートインターチェンジの進捗状況と土地利用について尋ねる。

**答** 基本的な線形について地元の同意をいただいた。今後も地元の理解を得ながら用地測量後に用地取得を進めていきたい。また、今年度から土地利用検討チームをつくり、検討を行っている。

高齢者支援について問う

**質** 人生100年時代に向けて、本市におけるエンディングノートの取組について尋ねる。

**答** 自分の家族や、大切な人と自分が大切にしていることを話し、伝えるきっかけづくりのツールとして、意思表示カードを作成中である。